

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日
販売店 (TEL)			

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00

### ●フリーダイヤル

**0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。  
※長くお待たせする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99534702 107 G

# HIKOKI

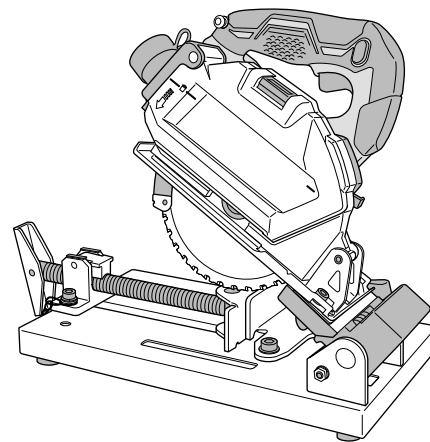
## 取扱説明書

### 用途

- 電線管、パイプ、アングル鋼など軟鋼材の切断

# CD 3605DFA / CD 3605DB 用 バイススタンド

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書、および取付けるコードレス工具体の取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



## はじめに

安全上のご注意	1
使用できるコードレス工具	3
各部の名称	3
仕様	4
付属部品	4

## 使い方

コードレス工具体の取付け・取りはずし	5
チェーン掛けの取付け	7
1 充電当たりの切断量	7
ワンタッチバイスについて	8
切断角度の調整について	8
ご使用前の点検	9
切断する	11

## その他

保守・点検	13
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

## ⚠警告、⚠注意、注 の意味について

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠警告

- ① このバイススタンドは CD 3605DFA 形、および CD 3605DB 形専用です。
- ② 指定された用途以外には使用しないでください。
- ③ コードレス工具は、この取扱説明書に従ってバイススタンドに確実に取付けてください。また、使用前に取付けるコードレス工具の取扱説明書もよくお読みください。
- ④ バイススタンドの取付け・取りはずしの際は、コードレス工具本体のスイッチを切り、蓄電池を取りはずしてください。
- ⑤ この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。
- ⑥ このバイススタンドは、軟鋼材の切断用となります。専用の弊社純正軟鋼材切断用チップソーを使用してください。  
切断トイシ、木材用チップソーなどを使用しますと、刃物が破損する原因になります。
- ⑦ バイススタンドは、傾斜のない平坦な場所へ安定した状態にすえ付けてください。  
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

## ⚠警告

- ⑧ 切断する材料は、バイスで確実に固定してください。  
材料の固定が不十分ですと材料が飛散したり、チップソーが破損する原因になります。
- ⑨ 切断途中や切断後、チップソーを回転させたままハンドルを持ち上げないでください。スイッチを切り、回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。  
回転させたままハンドルを持ち上げると、材料がチップソーに巻き込まれ飛散することがあります。
- ⑩ 連続して作業するときは、1回の切断ごとに切り落とした材料を取り除いて、次の段取りをしてください。
- ⑪ 使用中、異常音、異常振動がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑫ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体に破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑬ 輸送する際は、ダストボックスにたまっている切りくずを捨て、ダストボックスを清掃してください。また、輸送の際に機体が一気に動くことのないようにしっかりと固定してください。

## ⚠警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から取りはずしてください。  
蓄電池をコードレス工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

# 使用できるコードレス工具

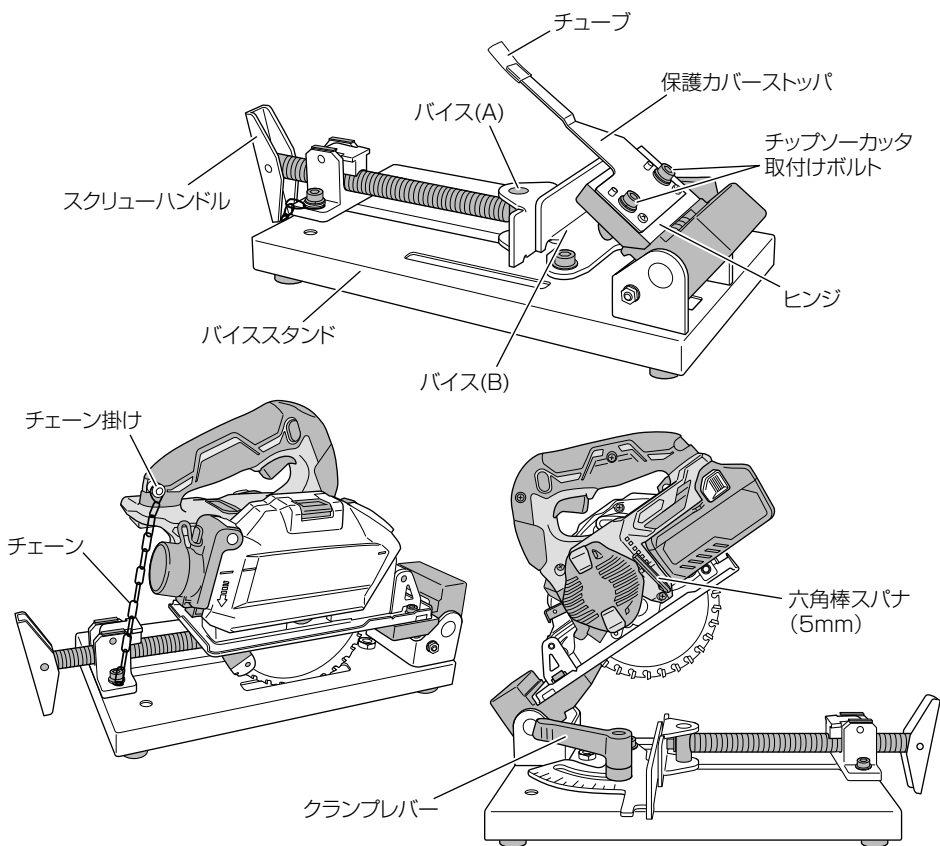
コードレスチップソー切断機：CD 3605DFA形\*

コードレスチップソーカッタ：CD 3605DB形

※ CD 3605DFA 形は、バイススタンドを標準で装着しています。

バイススタンドを取りはずした場合、CD 3605DB 形と同一の手持ち式としてお使いいただけます。

## 各部の名称

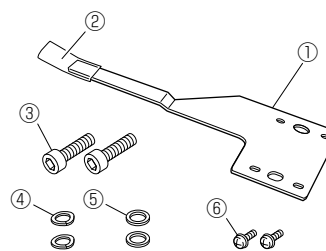


# 仕様

名 称		バイススタンド	
バイススタンド 使用時の最大 切断能力	バイス角 0°(直角)	丸パイプ外径	56 mm
		角パイプ(幅×高さ)	50×50 mm
		アングル鋼(幅×高さ)	50×50 mm
	バイス角 左45°	丸パイプ外径	40 mm
		角パイプ(幅×高さ)	40×50 mm
		アングル鋼(幅×高さ)	40×40 mm
使用可能チップソー		外径 150 mm × 穴径 20 mm	
角度切り範囲		0°～左45°	
寸 法 全長×高さ×全幅		394×348×205 mm (CD 3605DB, BSL 36A18 装着時)	
質 量		6.6 kg (CD 3605DB, BSL 36A18 装着時)	

## 付属部品

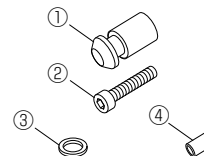
### ■保護カバーストップ



#### 内容物

- ① 保護カバーストップ ..... 1 個
- ② チューブ ..... 1 個
- ③ M6×25 六角穴付きボルト ..... 2 個
- ④ D6 スプリングワッシャ ..... 2 個
- ⑤ D6 ボルトワッシャ ..... 2 個
- ⑥ M4×8 スワツキナベねじ ..... 2 個

### ■チェーン掛け



#### 内容物

- ① チェーン掛け ..... 1 個
- ② M4×20 六角穴付きボルト ..... 1 個
- ③ D4 ボルトワッシャ ..... 1 個
- ④ スペーサ ..... 1 個

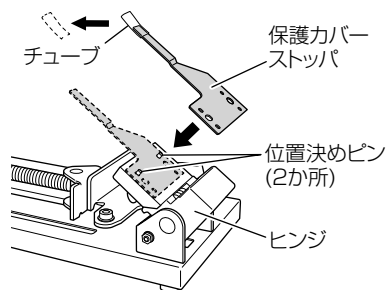
※ 別途部品をお求めの際は、販売店にお問い合わせください。

# コードレス工具本体の取付け・取りはずし

コードレスチップソー切断機 (CD 3605DFA形) は、工場出荷時にチップソーカッタ (CD 3605DB形) とバイススタンドが組み立てられています。

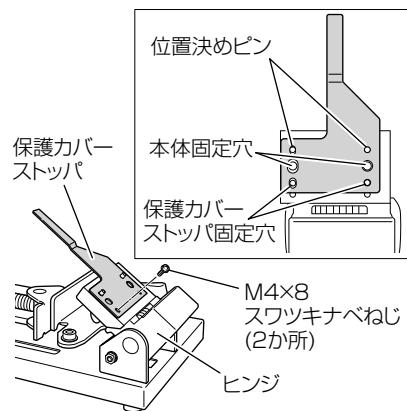
## 1 保護カバーストッパの取付け

保護カバーストッパ先端のチューブをはずし、バイススタンドの位置決めピンに沿って、ヒンジの上に置きます。



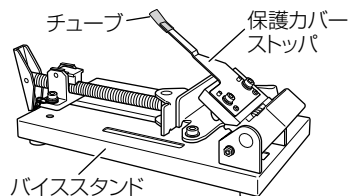
## 2 保護カバーストッパの位置を調整

保護カバーストッパとヒンジが垂直になるように位置を整え、M4×8 スワツキナベねじを締めます。



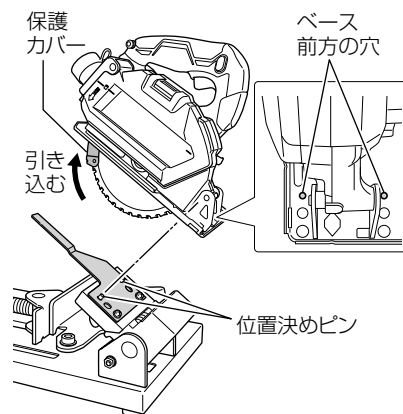
## ⚠️ 注意

バイススタンドを使用しないときは、不意なけがを防ぐため、保護カバーストッパ先端部に付属のチューブを取付けてください。



## 3 工具本体を仮置きする

保護カバーをギヤカバーの中に引き込み、チップソーのベース前方の穴を位置決めピンに沿って保護カバーストッパの上に置きます。

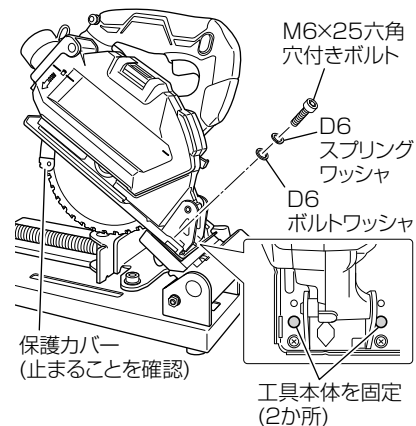


## 4 工具本体を固定する

工具本体に付属の六角棒スパナ (5 mm) で、M6×25 六角穴付きボルトを確実に締付けます。

押さえていた保護カバーを下ろし、保護カバーストッパで止まることを確認してください。

止まらない場合は手順②の調整を再度行ってください。



## 取りはずし

手順④と逆に M6×25 六角穴付きボルトを取りはずします。

**注** 工具本体を取りはずす際は、以下を確認してください。

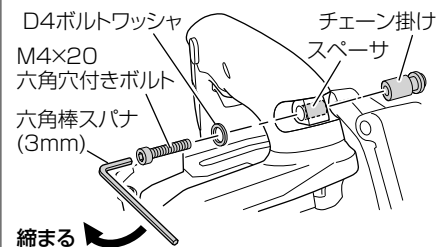
ボルトをゆるめる際、ヒンジの反動で不意に工具本体が動いてしまいます。

- 切込み用レバーがしっかりと締付けられていること
- チェーンがチェーン掛けからはずれていること
- 取りはずした後は、保護カバーストッパにチューブを取付けること

## チェーン掛けの取付け

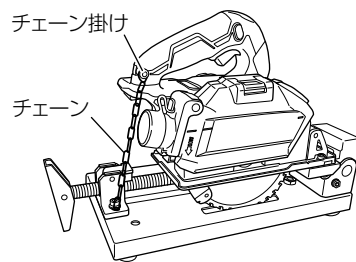
### 1 取付ける

工具本体の後方にある穴に、お手持ちの六角棒スパナ(3mm)で取付けます。



### 2 確認する

チェーンを掛けて、下図のような状態で固定できることを確認します。



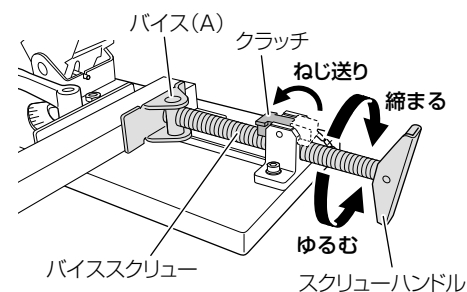
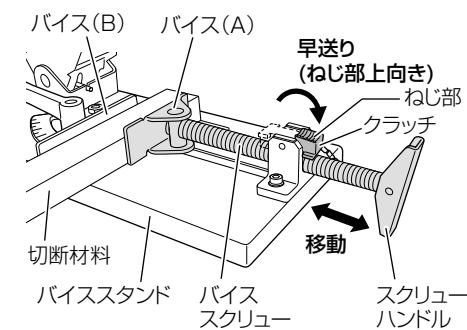
## ワンタッチバイスについて

本製品は、クラッチの向きを変えることにより、バイス(A)の早送りとねじ送りの切り替えができます。切断する材料に合わせて使い分けることにより能率良く作業できます。

- クラッチのねじ部を上向きにすると、スクリーハンドルの押し引きで、バイス(A)の早送りができます。

**注** クラッチを起こそうとしても動かない場合は、スクリーハンドルを少し回してください。

- クラッチのねじ部をバイススクリーにかみ合わせると、スクリーハンドルを回してバイス(A)のねじ送りができます。



## 1 充電当たりの切断量

切断量は、材料の状態、チップソーの種類、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。

(パワーモード、蓄電池 BSL 36A18 使用時)

材 料		切断量
電線管	外径 34 mm × 厚さ 3.2 mm	105 本

1回の充電による切断量を増やすためには

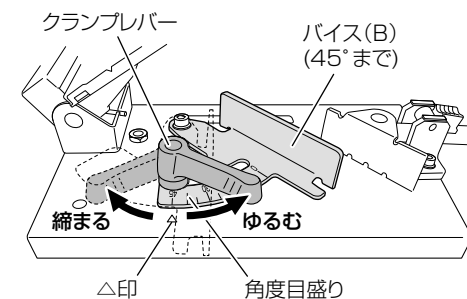
- 切断中に機体をこじったり、強く押ししたりして、モーターに無理をかけないでください。
- 切れ味の悪いチップソーは使用しないでください。

## 切断角度の調整について

### ⚠注意

切断角度設定後、クランプレバーは確実に締付けてください。切断時に材料が動いて、材料の飛散や、チップソーが破損する原因になります。

本製品は、45°までの角度切断ができます。クランプレバーをゆるめ、△印に角度目盛りを合わせれば、バイス(B)の角度が設定できます。



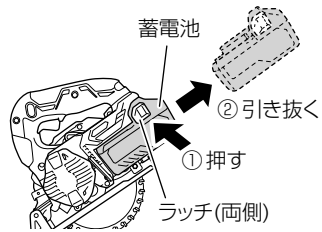
# ご使用前の点検

## 警告

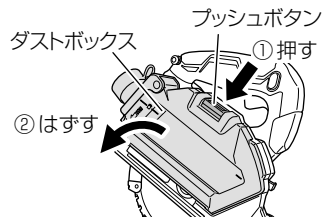
⑤ ロックレバーや⑥ スイッチロックが元の位置に戻らない場合、⑧ ブレーキが正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

## 1 蓄電池を取りはずす

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

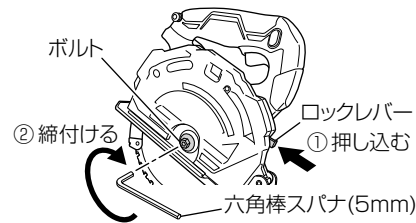


## 2 プッシュボタンを押して、ダストボックスをはずす



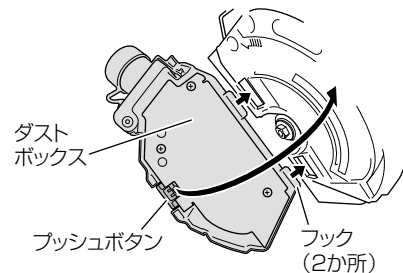
## 3 チップソーの締付けを確かめる

ロックレバーを押し込みながら、付属の六角棒スパナでボルトを時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。その状態のまま締付けます。チップソーを締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻ることを確認してください。

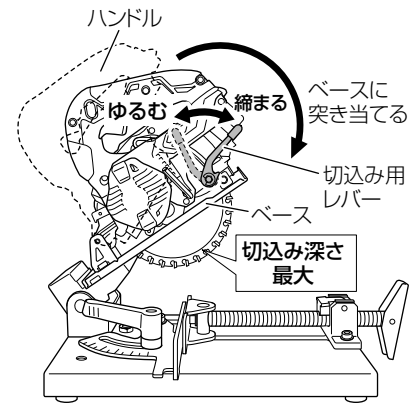


## 4 ダストボックスを取付ける

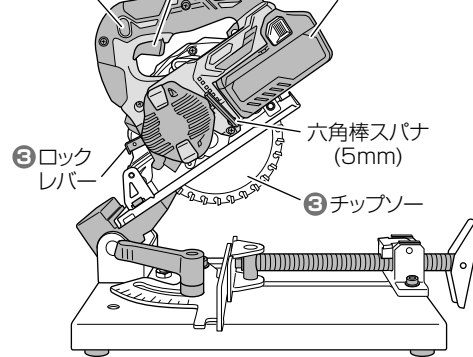
下部のフック(2か所)を本体に掛け、上のプッシュボタンをはめ込み、ダストボックスを本体に取付けます。



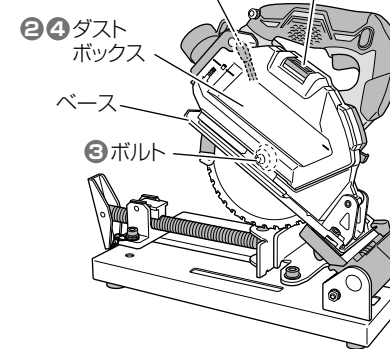
## 5 切込み用レバーの締付けを確かめる



⑥ スイッチロック ⑧ スイッチ ⑩ 蓄電池

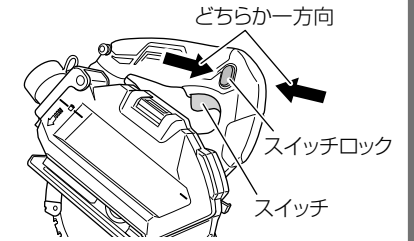


⑤ 切込み用レバー ②④ プッシュボタン



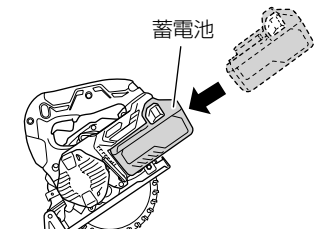
## 6 スイッチおよびスイッチロックの動きを確かめる

- スイッチロックは、本体が不意に起動することを防ぎます。
- スイッチロックを押しながらスイッチを引きます。スイッチロックをはなした後、スイッチをはなします。スイッチ、およびスイッチロックが元の位置に戻ることを確認してください。



## 7 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



## 8 ブレーキがかかることを確かめる

本製品はスイッチを切ると同時に、チップソーの回転にブレーキがかかる構造になっています。

使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

# 切断する

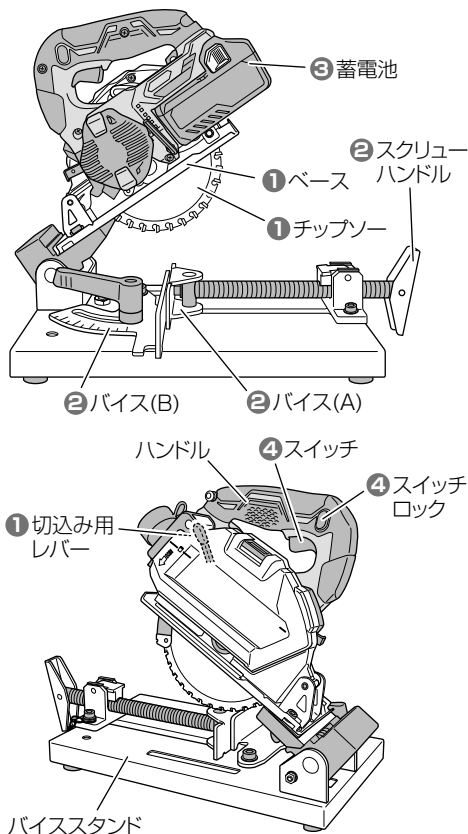
バイスで軟鋼材（電線管、パイプ、アングル鋼など）を固定して切断します。

## 警告

- スイッチロックを固定しないでください。また、運搬時にはスイッチから指をはなしてください。不意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- 切断作業はハンドルをゆっくりと押し下げてください。また、チップソーを材料に強く押しすぎないでください。

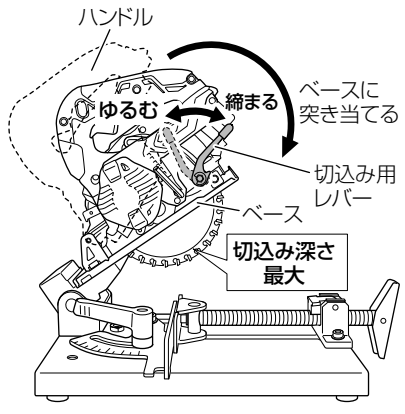
## 注意

ハンドルを急激に押し下げて、チップソーを材料に強く当てないでください。チップの欠けや、台金割れの原因になります。



## 1 切込み深さを最大にする

切込み用レバーをゆるめ、本体をベース側に突き当たるまで押し込み、チップソーが一番出た状態にします。切込み用レバーを締付けて、ベースを固定します。



- 注**
- ロックレバーは、スピンドルを固定しますので、モーター運転中は押さないでください。
  - チップソーのロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り最初の切断位置まで機体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。
  - 外径 150 mm のチップソーを使用してください。外径 150 mm 以下のチップソーを使用すると、切り残し部がでることがあります。

## 3 蓄電池を取付ける

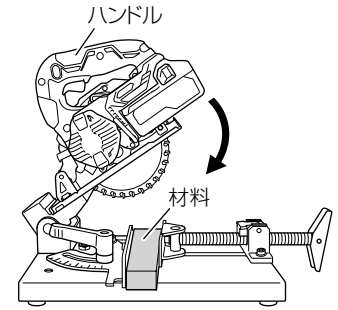
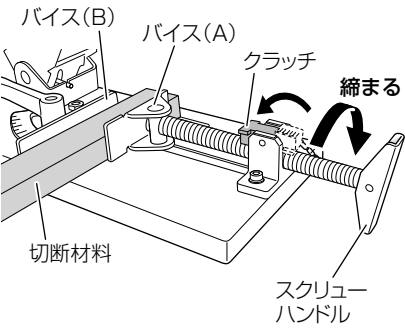
(P.10の⑦「ご使用前の点検」参照)

## 4 切断する

チップソーが材料に触れない状態でスイッチを入れ、回転が安定したら、ハンドルをゆっくり押し下げて切込みます。火花が一番少ない状態を目安に、チップソーの押し付けを加減して切込んでください。切断が終わったらスイッチを切り、チップソーの回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。

## 2 材料を固定する

材料をバイス (B) 面に確実に突き当て、スクリューハンドルを回して材料を確実に固定してください。(P.8「ワンタッチバイスについて」参照)(P.11「アングル鋼の固定方法」参照)



### アングル鋼の固定方法

材料がアングル鋼の場合は、①～③図のように固定してください。②で切り残しがある場合には③で切断してください。アングル鋼を④図のように固定しないでください。④図の状態固定し、切断すると材料が動き、切断精度が悪くなる場合があります。

固定方法	①	②	③	④
バイス角	0°(直角) 左45°	0°(直角) 左45°	0°(直角) 左45°	×
切断可能アングル鋼	40×40 25×25	50×50 40×40	50×50 40×40	

# 保守・点検

## ⚠ 警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

### ● 機体の点検

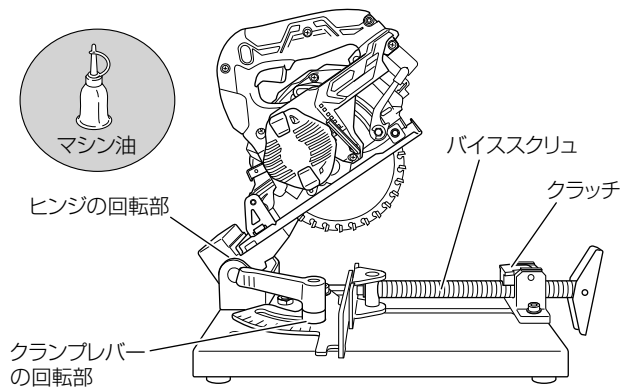
各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。  
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

### ● 清掃および注油

スタンドに付いている切りくずやほこりを、ブラシ等で取り除いてください。  
また、時々注油点に注油してください。(油はマシン油が適当です。)

#### 【注油点】

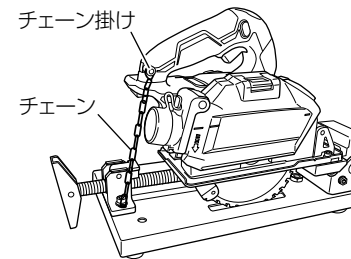
- ヒンジの回転部
- バイススクリュ、クラッチのねじ部
- クランプレバーの回転部



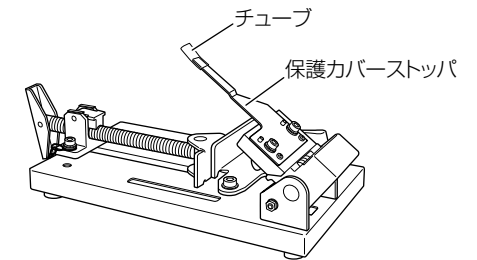
### ● 機体や付属品の保管

作業後は、チェーンをチェーン掛けに取付けると、コンパクトに収納できます。  
工具本体をはずした際は、保護カバーストッパにチューブを付けてください。

#### 【作業後】



#### 【工具をはずしたとき】



下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
  - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所